DOCUMENT TRANSMISSION METHOD AND DOCUMENT PROCESSOR FOR REALIZING THE METHOD

Publication number: JP11134263
Publication date: 1999-05-21

Inventor:

ENDO TOMOAKI

Applicant:

CANON KK

Classification:

- international:

G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58; H04L29/06; H04N1/00; H04N1/32; G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58; H04L29/06; H04N1/00; H04N1/32; (IPC1-7): G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58; H04L29/06;

H04N1/00; H04N1/32

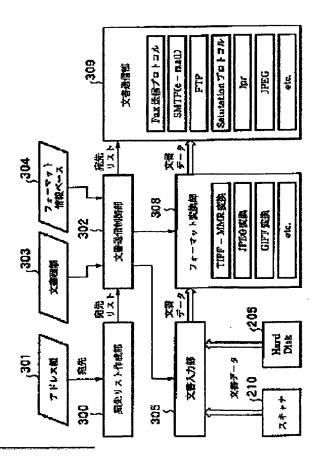
- european:

Application number: JP19970294661 19971027 Priority number(s): JP19970294661 19971027

Report a data error here

Abstract of JP11134263

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a document transmission method for transmitting en bloc a document to the plural destinations of plural transmission methods by different document formats and a document processor for realizing the method. SOLUTION: The transmission methods requested for respective transmission destinations and the plural document formats corresponding to the kind of the document are respectively stored (301) in correspondence. When a transmission document (305), the kind (303) of the document and the plural transmission destinations (300) are instructed the instructed plural transmission destinations are classified for the respective transmission destination for which the same document format is requested and the transmission destinations provided with the same transmission method are classified from the transmission destinations for which the same format is request (302). The result of the format conversion of one time is shared for the same document format (308) and the transmission document is continuously transmitted to the transmission destinations provided with the same transmission method (309).



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(16) 日本国格群庁 (JP)

€ 翐 ধ 盐 华 噩 4 8

(11) 特許出顧公開番号

特開平11-134263

(43)公開日 平成11年(1999)5月21日

						最終質に続く
	351B	351G	1072	2	101C	
						OL
	13/00		1/00	1/32	11/20	未請求 請求項の数26
FI	G 0 6 F		0 4 N		04L	器
14	G		Ξ		H	推
						審查辦決
數別記号	351					
	13/00		12/54	12/58	90/62	
(51) Int CL.	GOEF		H04L			

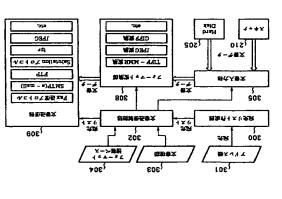
(71) 出題人 000001007 キヤノン株式会社		(74)代理人,并理士 大學 康徳 (外2名)
(71) 出題人	(72) 発明者	(74) 代理人
特爾平9—294661	平成9年(1997)10月27日	
(21) 出願答号	(22) 出題日	

文書送信方法及び散方法を実現する文書処理装置 (54) [発明の名称]

(51) [聚約]

方法の複数の宛先に一括して送信する文書送信方法及び 文書を異なる文書フォーマットで複数の送信 抜方法を実現する文書処理装置を提供する。

れぞれ対応して記憶しておき301、送信文書305と とに、前配指示された複数の送信宛先を分類し、同じフ **ナーマットが要求されている送信宛先から同じ送信方法** を有する送信宛先を分類して302、、同じ文書フォー マットについては1回のフォーマット変換の結果を共有 し308、同じ送信方法を有する送信宛先には連続して 【解佚手段】 複数の送信宛先ごとに要求される送信方 法と文書の種類に応じた複数の文書フォーマットとをそ と、同じ文書フォーマットが要求されている送信宛先ご 文書の種類303と複数の送信宛先300を指示する 送信文書を送信する309。



体許請求の範囲

「請求項11 ファクシミリ回線およびネットワークを 介した電子メール送信やファイル転送などの複数の送信

複数の送信方法ごとに規定されている文書フォーマット 先に文書を送信する文書送信方法であって、 をそれぞれ対応して配憶させておき

方法を有する複数の送信先へ前配変換されたそれぞれの 送信文書と複数の送信方法が指示された場合に、駭送信 文書を前記指示された複数の送信方法に対応したフォー マットにそれぞれ変換して、前配指示された複数の送信 送信文審を送信することを特徴とする文審送信方法。

文書の種類が指示された場合に、該送倡文書を前配指示 【請求項2】 更に、送信方法に対応して、文書の種類 された文書の祖類に対応したフォーマットに変換するこ に応じた文書フォーマットをそれぞれ記憶させておき、 とを特徴とする請求項1配載の文魯送信方法。

ットについては1回のフォーマット変換の結果を共有す 【開求項3】 前記フーマット変換される前に、同じ文 **春フォーマットが規定されている通信方法ごとに、前記** 指示された複数の送信方法を分類し、同じ文書フォーマ ることを特徴とする請求項1または2配載の文書送信方

4

介した電子メール送信やファイル転送などの複数の送信 複数の送信宛先ごとに要求される文書フォーマットをそ ファクシミリ回線およびネットワークを 先に文審を送信する文書送信方法であって、 れぞれ対応して配憶させておき、 [請求項4]

8 マットにそれぞれ変換して、前配指示された複数の送信 送信文書と複数の送信宛先が指示された場合に、抜送信 女番を前配指示された複数の送信宛先に対応したフォー 宛先へ前記変換されたそれぞれの送信文書を送信するこ とを特徴とする文魯送信方法。

[請求項5] 更に、送信宛先に対応して、文書の種類 文書の種類が指示された場合に、該送信文書を前配指示 された文書の種類に対応したフォーマットに変換するこ に応じた文書フォーマットをそれぞれ記憶させておき、 とを特徴とする請求項4配載の文魯送信方法。

魯フォーマットが要求されている送信宛先ごとに、前記 指示された複数の送信宛先を分類し、同じ文書フォーマ 【開求項6】 前記フーマット変換される前に、同じ文 ットについては1回のフォーマット変換の結果を共有す ることを特徴とする期水項4または5配敏の文書送信方 【請求項7】 ファクシミリ回線およびネットワークを 先に文뿁を送信する文魯送信方法であって、送信方法に 対応して、文書の種類に応じた文書フォーマットをそれ 介した電子メール送信やファイル転送などの複数の送信 ぞれ記憶させておき、

合に、核送信文書を前記指示された文書の種類に対応し 50 送信文書と前記送信方法と文書の種類とが指示された場

特開平11-134263

4

たフォーマットに変換して、前記送信方法で前記変換さ れた送信文事を送信することを特徴とする文書送信方

ファクシミリ回線およびネットワークを

[請求項8]

介した電子メール送信やファイル転送などの複数の送信 送信宛先に対応して、文書の種類に応じた文書フォーマ 先に文書を送信する文魯送信方法であって

送信文書と前記送信宛先と文書の種類とが指示された場 合に、該送倡文書を前配指示された文書の種類に対応し たフォーマットに変換して、前記送信宛先に前記変換さ れた送信文書を送信することを特徴とする文書送信方 ットをそれぞれ配憶させておき、

ファクシミリ回線およびネットワークを 介した電子メール送信やファイル転送などの複数の送信 複数の送信宛先ごとに要求される送信方法と文費フォー 先に文書を送信する文書送信方法であって、 [請求項9]

送信文書と複数の送信宛先が指示された場合に、駭送信 【請求項10】 更に、送信宛先に対応して、文書の種 マットにそれぞれ変換して、前配指示された複数の送信 **宛先へ対応する送信方法で前配変換されたそれぞれの送** 文書を前配指示された複数の送信宛先に対応したフォー 信文書を送信することを特徴とする文書送信方法。 マットとをそれぞれ対応して配憶させておき、 ន

文書の種類が指示された場合に、駭送信文書を前記指示 された文書の種類に対応したフォーマットに変換するこ とを特徴とする請求項9配載の文魯送信方法。

類に応じた文書フォーマットをそれぞれ配憶させてお

文書フォーマットが要求されている送信宛先ごとに、前 マットについては1回のフォーマット変換の結果を共有 【請求項11】 前記フーマット変換される前に、同じ 配指示された複数の送信宛先を分類し、同じ文書フォー

同じフォーマットが要求されている送信宛先から同じ送 借方法を有する送信宛先を分類し、同じ送信方法を有す る送信宛先には連続して送信文書を送信することを特徴 とする請求項9または10記載の文書送倡方法。

を介した電子メール送信やファイル転送などの複数の送 【請求項12】 ファクシミリ回線およびネットワーク 信先と接続された文書処理装置において、

複数の送信方法ごとに規定されている文番フォーマット をそれぞれ対応して記憶する記憶手段と、

該送信文書を前記指示された複数の送信方法に対応した 送信文書と複数の送信方法とを指示する指示手段と、 フォーマットにそれぞれ変換する変換手段と

前配変換されたそれぞれの送信文書を送信する送信手段 前記指示された複数の送倡方法を有する複数の送倡先へ とを有することを特徴とする文書処理装置。

【請求項13】 前配記憶手段は、送信方法に対応し

3

て、文書の種類に応じた文魯フォーマットをそれぞれ配

対応したフォーマットに変換することを特徴とする請求 前配指示手段から文書の種類が指示された場合に、前配 変換手段は、骸送信文魯を前配指示された文魯の種類に 項12記載の文書処理装置。

フォーマットについては1回のフォーマット変換をする 類する分類手段を更に有し、前配変換手段は、同じ文書 【糖求項14】 同じ文魯フォーマットが規定されてい る通信方法ごとに、前配指示された複数の送信方法を分 ことを特徴とする請求項12または13記載の文魯処理

を介した電子メール送信やファイル転送などの複数の送 複数の送僧宛先ごとに要求される文書フォーマットをそ 【欝求項15】 ファクシミリ回線およびネットワーク 信先と接続された文푭処理装置において、 れぞれ対応して記憶する記憶手段と、

該送信文書を前配指示された複数の送信宛先に対応した 前配指示された複数の送信宛先へ前配変換されたそれぞ れの送信文書を送信する送信手段とを有することを特徴 送信文書と複数の送信宛先を指示する指示手段と、 フォーマットにそれぞれ変換する変換手段と、

て、文書の種類に応じた文魯フォーマットをそれぞれ配 【静水項16】 前配配億手段は、送倡宛先に対応し

とする文魯処理装置。

前配指示手段から文뵵の種類が指示された場合に、前配 変換手段は、眩送信文告を前配指示された文書の種類に

る送信宛先ごとに、前配指示された複数の送信宛先を分 類する分類手段を更に備え、前配変換手段は、同じ文書 対応したフォーマットに変換することを特徴とする請求 【請求項17】 同じ文魯フォーマットが要求されてい フォーマットについては1回のフォーマット変換をする ことを特徴とする請求項15または16記載の文魯処理 項15記載の文書処理装置

送情方法に対応して、文書の種類に応じた文書フォーマ を介した電子メール送信やファイル転送などの複数の送 【精水項18】 ファクシミリ回線およびネットワーク 信先と接続された文魯処理装置において、

送倡文書と前配送倡方法と文書の種類とが指示された場 合に、該送信文審を前配指示された文書の種類に対応し たフォーマットに変換する変換手段と、 ットをそれぞれ配憶する配憶手段と、

前記送信方法で前記変換された送信文書を送信する送信 手段とを有することを特徴とする文書処理装置。

を介した電子メール送信やファイル転送などの複数の送 【請求項19】 ファクシミリ回線およびネットワーク 信先と接続された文書処理装置において、

ットをそれぞれ記憶する記憶手段と、

送信文書と前記送信宛先と文書の種類とが指示された場 合に、該送倡文審を前配指示された文睿の種類に対応し たフォーマットに変換する変換手段と、

を介した電子メール送信やファイル転送などの複数の送 前配送信宛先に前配変換された送信文書を送信する送信 【請求項20】 ファクシミリ回線およびネットワーク 手段とを有することを特徴とする文書処理装置。

複数の送信宛先ごとに要求される送信方法と文書フォー マットとをそれぞれ対応して記憶する記憶手段と、 信先と接続された文書処理装置において、

抜送信文書を前配指示された複数の送信宛先に対応した 前配指示された複数の送信宛先へ対応する送信方法で前 配変換されたそれぞれの送信文魯を送信する送信手段と 送信文書と複数の送信宛先を指示する指示手段と、 フォーマットにそれぞれ変換する変換手段と、

て、文書の種類に応じた文書フォーマットをそれぞれ記 【請求項21】 前配配億手段は、送信宛先に対応し を有することを特徴とする文魯処理装置。

前配指示手段から文書の種類が指示された場合に、前配 対応したフォーマットに変換することを特徴とする請求 変換手段は、該送信文書を前配指示された文書の種類に 頃20記載の文魯処理装置。

類する第1の分類手段と、同じフォーマットが要求され ている送信宛先から同じ送信方法を有する送信宛先を分 【謝求項22】 同じ文魯フォーマットが要求されてい る送倡宛先ごとに、前配指示された複数の送倡宛先を分 類する第2の分類手段とを更に備え、 前記送信手段は、同じ文書フォーマットについては1回 する送信宛先には連続して送信文雪を送信することを特 を介した電子メール送信やファイル転送などの複数の送 のフォーマット変換の結果を共有し、同じ送倡方法を有 【請求項23】 ファクシミリ回線およびネットワーク 信先に文書を送信するプログラムをコンピュータ횂取り 徴とする欝水項20または21配載の文書処理装置。 可能に配憶する配憶媒体であって、

送信文書と複数の送信宛先が指示された場合に、複数の 送信宛先ごとに要求される送信方法と文書フォーマット とをそれぞれ対応して記憶する記憶情報を使用して、該 送信文書を前配指示された複数の送信宛先に対応したフ オーマットにそれぞれ変換するフォーマット変換モジュ

\$

マットとをそれぞれ対応して配憶する前配配憶情報を使 用して、前配指示された複数の送信宛先へ対応する送信 方法で前配変換されたそれぞれの送信文書を送信する文 複数の送信宛先ごとに要求される送信方法と文書フォー 魯送信モジュールとを含むことを特徴とする記憶媒体。 |請求項24|| 前記フォーマット変換モジュールは、

文書の種類が指示された場合に、更に、送信宛先に対応

ಜ

送僧宛先に対応して、文書の種類に応じた文俳フォーマ

して、文書の種類に応じた文書フォーマットをそれぞれ 配憶する配憶情報を使用して、散送信文書を前配指示さ れた文書の種類に対応したフォーマットに変換すること を特徴とする請求項23配載の配憶媒体。 【糖求項25】 同じ文替フォーマットが要求されてい る送信宛先ごとに、前配指示された複数の送信宛先を分 類し、同じフォーマットが要求されている送信宛先から 同じ送焻方法を有する送焻宛先を分類する文魯送倡制御 モジュールを更に有し、

前配文뿁送信モジュールは、同じ文書フォーマットにつ いては1回のフォーマット変換の結果を共有し、同じ送 信方法を有する送信宛先には連続して送信文書を送信す ることを特徴とする請求項23または24記載の記憶媒 [請求項26] 複数の送信宛先ごとに要求される送信 更に、送借宛先に対応して、文書の種類に応じた文書フ ォーマットをそれぞれ配憶する配億情報を更に有するこ 方法と文書フォーマットとをそれぞれ対応して記憶し、 とを特徴とする請求項24または25配載の配憶媒体。

0001]

[発明の詳細な説明]

方法を実現する文書処理装置に関し、特に送信方式の異 なる複数の宛先に文書を送信する文書送信方法及び該方 [発明の属する技術分野] 本発明は文書送信方法及び核 法を実現する文書処理装置に関するものである。

線を通して他の装置に接続された文魯処理装置から、電 て送信を行う必要がため、1回の送信指示で文書の送信 システム、リモートデータベース、リモートプリンタな どにネットワークを介して接続され、又ファクシミリ回 する場合には、送信に使用するネットワークプロトコル による規定、または文書が送られる環境による規定、ま たは受信側の要求・機能・性能によって送信される文書 のフォーマットが異なっているために、ユーザが文書の (従来の技術】電子メールシステム、リモートファイル 子メールシステム、リモートファイルシステム、リモー トデータベース、リモートプリンタなどの複数の送信方 式による複数の受信者、およびファクシミリ回線を通し て接続された複数の受信者に対して、1つの文書を送信 フォーマットを適宜変換しながらそれぞれの宛先に対し を行わせることはできなかった。

【0003】叉、同じフォーマットで送信が可能な宛先 換していたのでは、同じ変換を複数回行う可能性もあり が複数ある場合に、宛先ごとに必要なフォーマットに変 効率が悪いという問題がある。更に、受信側が複数の文 一、白黒などの文書の種類に応じて文書フォーマットを **番フォーマットを受信可能な場合に、テキスト・カラ**

決定したいという要求もある。

特開平11-134263

ス、リモートプリンタなどの複数の送信方式による複数 の受信者や、ファクシミリ回線を通して接続された複数 の受信者に対して、1回の送信指示によって文書を送信 する文書送信方法及び核方法を実現する文書処理装置を は、ネットワークによって接続された電子メールシステ ム、リモートファイルシステム、リモートデータベー

[0005]

提供することを目的とする。

に、本発明の文書送信方法は、ファクシミリ回線および ネットワークを介した電子メール送信やファイル転送な どの複数の送信先に文書を送信する文書送信方法であっ て、複数の送信方法ごとに規定されている文書フォーマ ットをそれぞれ対応して配憶させておき、送信文告と複 数の送信方法が指示された場合に、該送信文書を前配指 示された複数の送信方法に対応したフォーマットにそれ ぞれ変換して、前配指示された複数の送信方法を有する 複数の送信先へ前配変換されたそれぞれの送信文書を送 【概題を解決するための手段】上記目的を達成するため 信することを特徴とする。更に、送信方法に対応して、 2

を前配指示された文書の種類に対応したフォーマットに せておき、文書の種類が指示された場合に、散送信文書 変換する。また、前記フーマット変換される前に、同じ 文督フォーマットが規定されている通信方法ごとに、前 マットについては1回のフォーマット変換の結果を共有 文書の種類に応じた文書フォーマットをそれぞれ配憶さ 配指示された複数の送信方法を分類し、同じ文書フォー

特徴とする。更に、送信宛先に対応して、文魯の種類に れた文書の種類に対応したフォーマットに変換する。ま ットが要求されている送信宛先ごとに、前配指示された 【0006】叉、本発明の文魯送信方法は、ファクシミ アイル転送などの複数の送信先に文書を送信する文書送 信方法であって、複数の送信宛先ごとに要求される文書 フォーマットをそれぞれ対応して配飯させておき、送信 文書と複数の送信宛先が指示された場合に、該送信文書 を前配指示された複数の送信宛先に対応したフォーマッ トにそれぞれ変換して、前配指示された複数の送倡宛先 へ前配変換されたそれぞれの送借文書を送信することを **春の種類が指示された場合に、 放送信文書を前配指示さ** た、前記フーマット変換される前に、同じ文告フォーマ 複数の送信宛先を分類し、同じ文書フォーマットについ リ回線およびネットワークを介した電子メール送信やフ **応じた文書フォーマットをそれぞれ記憶させておき、文** ては1回のフォーマット変換の結果を共有する。 8 \$

アイル転送などの複数の送倡先に文書を送信する文書送 信方法であって、送信方法に対応して、文書の種類に応 【0001】叉、本発明の文魯送信方法は、ファクシミ リ回線およびネットワークを介した電子メール送信やフ じた文書フォーマットをそれぞれ記憶させておき、送信 文書と前記送信方法と文書の種類とが指示された場合

20

€

[発明が解決しようとしている課題] 従って、本発明

フォーマットに変換して、前記送信方法で前配変換され に、該送倡文書を前配指示された文書の種類に対応した た送信文笛を送信することを特徴とする。

アイル転送などの複数の送信先に文督を送信する文督送 信方法であって、送信宛先に対応して、文書の種類に応 に、該送信文書を前記指示された文書の種類に対応した フォーマットに変換して、前記送信宛先に前記変換され 【0008】叉、本発明の文書送信方法は、ファクシミ リ回線およびネットワークを介した電子メール送信やフ じた文書フォーマットをそれぞれ記憶させておき、送信 文書と前記送信宛先と文書の種類とが指示された場合 た送信文曹を送信することを特徴とする。

ット変換の結果を共有し、同じフォーマットが要求され 30 ットをそれぞれ記憶させておき、文書の種類が指示され た場合に、抜送信文書を前記指示された文書の種類に対 変換される前に、同じ文替フォーマットが要求されてい る送信宛先ごとに、前配指示された複数の送信宛先を分 **信方法であって、複数の送信宛先ごとに要求される送信** 方法と文書フォーマットとをそれぞれ対応して記憶させ したフォーマットにそれぞれ変換して、前配指示された 複数の送信宛先へ対応する送信方法で前配変換されたそ 応したフォーマットに変換する。また、前記フーマット ている送信宛先から同じ送信方法を有する送信宛先を分 類し、同じ送信方法を有する送信宛先には連続して送信 アイル転送などの複数の送倡先に文書を送信する文書送 類し、同じ文書フォーマットについては1回のフォーマ 【0009】又、本発明の文書送信方法は、ファクシミ リ回線およびネットワークを介した電子メール送信やフ に、該送信文書を前記指示された複数の送信宛先に対応 送信宛先に対応して、文曲の種類に応じた文書フォーマ れぞれの送信文書を送信することを特徴とする。更に、 ておき、送信文書と複数の送信宛先が指示された場合

ト変換をする。

ことを特徴とする。ここで、前配配億手段は、送信方法 に対応して、文書の種類に応じた文書フォーマットをそ れぞれ記憶し、前記指示手段から文書の磁類が指示され 送信文書と複数の送信方法とを指示する指示手段と、眩 れた複数の送信方法を有する複数の送信先へ前配変換さ れたそれぞれの送信文書を送信する送信手段とを有する た場合に、前記変換手段は、抜送信文番を前記指示され 【0010】叉、本発明の文書処理装置は、ファクシミ リ回線およびネットワークを介した電子メール送信やフ **ナイル転送などの複数の送信先と接続された文書処理装** 置において、複数の送信方法ごとに規定されている文書 送信文書を前配指示された複数の送信方法に対応したフ ォーマットにそれぞれ変換する変換手段と、前配指示さ フォーマットをそれぞれ対応して配憶する記憶手段と、 た文母の種類に対応したフォーマットに変換する。ま

毀を更に有し、前記変換手段は、同じ文書フォーマット については1回のフォーマット変換をする。

アイル転送などの複数の送信先と接続された文魯処理装 置において、複数の送信宛先ごとに要求される文書フォ ットにそれぞれ変換する変換手段と、前記指示された複 数の送信宛先へ前配変換されたそれぞれの送信文書を送 前配配憶手段は、送倡宛先に対応して、文書の種類に応 じた文書フォーマットをそれぞれ配憶し、前配指示手段 **ーマットに変換する。また、同じ文書フォーマットが要** 求されている送信宛先ごとに、前配指示された複数の送 は、同じ文掛フォーマットについては1回のフォーマッ 【0011】叉、本発明の文書処理装置は、ファクシミ リ回線およびネットワークを介した電子メール送信やフ **ーマットをそれぞれ対応して記憶する記憶手段と、送信** 文書と複数の送信宛先を指示する指示手段と、抜送信文 魯を前記指示された複数の送信宛先に対応したフォーマ 抜送借文審を前配指示された文書の種類に対応したフォ 信する送信手段とを有することを特徴とする。ここで、 から文書の種類が指示された場合に、前配変換手段は、 **信宛先を分類する分類手段を更に備え、前配変換手段**

に、抜送倡文書を前配指示された文書の種類に対応した [0012] 叉、本発明の文書処理装置は、ファクシミ アイル転送などの複数の送信先と接続された文書処理装 文書フォーマットをそれぞれ記憶する記憶手段と、送倡 フォーマットに変換する変換手段と、前配送信方法で前 配変換された送信文書を送信する送信手段とを有するこ リ回線およびネットワークを介した電子メール送信やフ 置において、送信方法に対応して、文書の種類に応じた 文書と前記送信方法と文書の種類とが指示された場合 とを特徴とする。

配配館情報を使用して、前配指示された複数の送倡宛先

したフォーマットにそれぞれ変換するフォーマット変換 モジュールと、複数の送信宛先ごとに要求される送信方 法と文事フォーマットとをそれぞれ対応して記憶する前 へ対応する送信方法で前配変換されたそれぞれの送信文 **審を送信する文書送信モジュールとを含むことを特徴と** する。ここで、前配フォーマット変換モジュールは、文

て、該送信文書を前記指示された複数の送信宛先に対応

ットとをそれぞれ対応して記憶する記憶情報を使用し

アイル転送などの複数の送信先と接続された文書処理装 フォーマットに変換する変換手段と、前配送信宛先に前 【0013】叉、本発明の文書処理装置は、ファクシミ リ回線およびネットワークを介した電子メール送信やフ 置において、送信宛先に対応して、文書の種類に応じた 文書フォーマットをそれぞれ記憶する記憶手段と、送信 に、核送信文書を前配指示された文書の種類に対応した 記変換された送信文番を送信する送信手段とを有するこ 文書と前記送信宛先と文書の種類とが指示された場合 とを特徴とする。

[0014] 叉、本発明の文書処理装置は、ファクシミ アイル転送などの複数の送信先と接続された文書処理装 置において、複数の送信宛先ごとに要求される送信方法 手段と、送信文書と複数の送信宛先を指示する指示手段 と、該送信文暋を前記指示された複数の送信宛先に対応 したフォーマットにそれぞれ変換する変換手段と、前配 指示された複数の送信宛先へ対応する送信方法で前記変 リ回線およびネットワークを介した電子メール送信やフ と文書フォーマットとをそれぞれ対応して記憶する記憶

ಜ

とに、前記指示された複数の送信方法を分類する分類手

た、同じ文書フォーマットが規定されている通信方法ご

[0016]

環境の例を示す図である。 換されたそれぞれの送信文魯を送信する送信手段とを有

特開平11-134263

FTPをサポートしている。(104)はデータベースでありネ ルシステムを動作させているファイルサーバであり、ネ ットワークに接続されてファイル転送プロトコルである に接続されて標準電子メール転送プロトコルであるステ [0017] 図1において、(101)は本実施の形態によ クシミリ回線(106)に接続されている。(102)は電子メー ルの配法を行う電子メールサーバであり、ネットワーク る文書処理装置であり、ネットワーク(107)およびファ ップSMTPをサポートしている。(103)はリモートファイ

をそれぞれ記憶し、前記指示手段から文書の種類が指示

された場合に、前配変換手段は、眩送倡文뿁を前配指示

宛先に対応して、文書の種類に応じた文書フォーマット

することを特徴とする。ここで、前配記憶手段は、送信

[0018] 図2は、本実施の形態の文費処理措置のハ **ードウエア構成例を示すプロック図である。図2におい** て、 (201) はCPU、即ち中央処理装置であり、この 装置全体の制御及び資算処理等を行なうものである。 あるlprをサポートしている。

【0015】叉、本発明の配篋媒体は、ファクシミリ回

ル転送などの複数の送信先に文書を送信するプログラム

をコンピュータ説取り可能に配憶する配億媒体であっ

線およびネットワークを介した電子メール送信やファイ

て、送倡文書と複数の送信宛先が指示された場合に、複 数の送信宛先ごとに要求される送信方法と文書フォーマ

共有し、同じ送信方法を有する送信宛先には連続して送

信文書を送信する。

オーマットについては1回のフォーマット変換の結果を

たプリンタであり、ネットワーク印刷用のプロトコルで

ットワークに接続されてステップSalutationプロトコル

宛先から同じ送信方法を有する送信宛先を分類する第2

の分類手段と、同じフォーマットが要求されている送信 の分類手段とを更に備え、前記送信手段は、同じ文書フ

ごとに、前配指示された複数の送倡宛先を分類する第1

また、同じ文像フォーマットが要求されている送倡宛先

された文書の種類に対応したフォーマットに変換する。

をサポートしている。(105)はネットワークに接続され

後出のフローチャートで表される各々のプログラム及び RAM(203)には、スキャナ(210)やHD(205)、FD(20 4) 等から入力される入力文書を記憶する入力文書領域(2 03a)、作成された宛先リストを配憶する宛先リスト領域 (2036)、入力文書から宛先に対応してフォーマット変換 されて作成された送倡文書を記憶する送倡文書領域(203 c)、HD (205)やFD (204)からプログラムをロードする 使用制限のないデータ配憶領域であり、様々な処理毎に (202) はROM即ち節み出し専用メモリであり、シス テム起動プログラム及び固定情報等の記憶領域である。 データがロードされ、実行される領域である。例えば、 (203) はR AM即ちランダムアクセスメモリであり、

カプログラム(205c)、フォーマット変換プログラム(205 [0019] (204) はフロッピーディスク (FD)・ド ディスク(HD)・ドライブであり、ここから処理を行 ハードディスクはスキャナから読み込まれた文書の一時 には、、データとして、入力文書の一時記憶の他にアド ライブであり、プログラム及びデータをフロッピーディ れ、プログラムとして、OSの他に文魯送信制御プログ ラム(205a)、宛先リスト作成プログラム(205b)、文魯入 d)、文書送信プログラム(205e)が含まれる。ここで、フ 必要に応じてハードディスク・ドライブ (205) に格納 なうシステム又はプログラムがR AM (203) 上にロード スク(212)に記憶、格納しておき、実行時に必要に応じ されて起動され、起動したシステム又はプログラムは、 記憶としても使用される。例えば、HDドライブ(205) オーマット情報ベース(304)やフォーマット変換プログ されたデータや情報をRAM (203) 上にロードする。 レス帳(301)やフォーマット情報ベース(304)が記憶さ て参照又はRAM(203)へロードする。

プログラムロード領域(2034)が含まれる。 春の種類が指示された場合に、更に、送信宛先に対応し 30 憶する記憶情報を使用して、該送倡文書を前記指示され て、文書の種類に応じた文書フォーマットをそれぞれ記 た、同じ文畬フォーマットが要求されている送信宛先ご とに、前記指示された複数の送信宛先を分類し、同じフ オーマットが要求されている送信宛先から同じ送信方法 を有する送信宛先を分類する文書送信制御モジュールを 更に有し、前配文書送信モジュールは、同じ文魯フォー マットについては1回のフォーマット変換の結果を共有 た文書の種類に対応したフォーマットに変換する。ま

し、同じ送信方法を有する送信宛先には連続して送信文 魯を送倡する。また、複数の送倡宛先ごとに要求される 送信方法と文書フォーマットとをそれぞれ対応して記憶 し、更に、送倡宛先に対応して、文睿の種類に応じた文 **沓フォーマットをそれぞれ配憶する配憶情報を更に有す** [発明の実施の形態] 以下、添付図面を参照して、本発

ය **施の形態の文番処理装置が接続されて動作する基本的な** <本実施の形態の文盤処理装置の構成例>図1は、本実 明の実施の形態を詳細に説明する。

ラム(205d)には、既存の各種フォーマット変換用のデー

9

の1つのキーはドキュメント送信を指示するためのスタ どのディスプレイ装置であり、データを表示する。(20 通してファクシミリ回線(106)に接続される。(210)はス パスであり、上述の構成要素間のデータの通路となるペ ートキー(206a)として使用される。(207) はCRTな 【0020】 (206) はキーボードであり、押下された キーの情報をCPU (201) へ伝達する。キーポード上 8) はネットワーク・インタフェースであり、このイン タフェースを介してネットワーク (107)に接続される。 (209)はファックスモデムであり、ファックスモデムを キャナであり文書の説み込みを行う。(211)はシステム きものである。

る際に、基本1/0プログラム中の1PL (イニシャルプログ [0021] 本装置は、基本I/0プログラム、OS、及 び文書送信プログラムモジュール群をCPU(201)が実 行することにより動作する。基本1/0プログラムはRO M(202)に書き込まれており、OSはHDドライブ (20 ラムローディング)機能によりHDドライブ (205) か 5) に沓き込まれている。そして、本システムが起動す らOSがRAM (203) に読み込まれ、OSの動作が開

AM(203)にロードし、CPU(201)で装置内の資源を利 トを作成する。アドレス帳には、図4で示すように、宛 先ごとに指定された文香フォーマットが送信方式・宛先 【0022】図3は、本実施の形態の文書処理装置の機 能構成例を示す概略プロック図である。尚、図3の各機 れた宛先の項目をコピーすることにより送信宛先のリス 能部の機能は、HDドライブ(205)上のプログラムをR 宛先リスト作成部(300)は、アドレス巊(301)から指定さ と共に記述されている。尚、宛先はキーボード(206)か 用しながらプログラムを実行することで、実現される。 ら送信方式と共に入力されても良い。

って決定されるフォーマットを使用する。このアドレス を示す図である。アドレス版には、宛先のアドレス(40 マットが明示されていない場合は、デフォルト文書フォ の1つに該当するものである。アドレス蝦で文書フォー フォーマット (テキストの時のフォーマット(403)、白 岋はHDドライブ(205)上に存在するファイルとして実 [0023] 図4は、アドレス酸(301)の内容の構成例 1)、送信方法(402)、文書の種類ごとに使用される文書 黒の時のフォーマット(404)、カラーの時のフォーマッ ト(405)) が、宛先ごとに記述されており、情報ベース ーマット情報ペース(304)の情報に従って送信方式によ 装され、適宜編集可能となっている。

方法・文書フォーマットが記述されている。図5は、宛 [0024] スタートキー(206a)が押されると、宛先リ ストが文書送信制御部(302)に送られる。、アドレス岋 た宛先リストには、図5で示されるように、宛先・送信 (301)から指定された宛先をピックアップして作成され 先リストの内容の構成例を示す図である。

定されていない場合は、送信方式ごとのデフォルト文書 ット毎に分類する。宛先リストで文書フォーマットが指 フォーマットを指定しているデフォルト文書フォーマッ 2)では、宛先リストを文書の種類を示した文書種類デー [0025] 宛先リストには宛先のアドレス(501)、送 マット (テキストの時のフォーマット(503)、白黒の時 5)) が宛先ごとに記述されている。文書送信制御部(30 信方法(502)、文書の種類ごとに使用される文書フォー のフォーマット(504)、カラーの時のフォーマット(50 タ(303)に従って、実際に送信に使用する文書フォーマ ト情報ベース(304)からの清報が使用される。

[0026] 図6は、デフォルト文書フォーマット情報 の時のフォーマット(602), 白黒の時のフォーマット(60 に配述されており、情報ペースに1つに該当するもので ある。デフォルト文書フォーマット情報ペースはHDド **書の種類ごとに使用される文書フォーマット (テキスト** 用するシステム環境の要求に従って適宜編集可能となっ 文書フォーマット情報ペースには、送信方法(601)、文 ライブ(205)上に存在するファイルとして実装され、使 ペース(304)の内容構成例を示す図である。 デフォルト 3)、カラーの時のフォーマット(604)) が送信方法ごと

順に、宛先のアドレス(701)、送信方法(702)、文書の種 【0027】図7は、文書種類としてカラーの時のフォ の散定及び文書フォーマット、通信方法による分類が終 了した時の、宛先リストの構成例を示す図である。分類 ーマット (705) の場合に、デフォルト文書フォーマット 類ごとに使用される文書フォーマット(705)が並べ変え られている。 【0028】デフォルト文書フォーマットとして、宛先 (imr. ikj. jp)にはLIPSが挿入され、文書フォーマッ 分類でe-mailがまとめられている。従って、文書送信制 トによる分類でJPEGがまとめられ、通信方法による 文書フォーマットによる分類に従って、共通のフーマッ 御部(302)は、フォーマット変換部 (308)に対しては、

分類に従って、共通の通信方法の宛先毎にまとめて送信 し、文書送信部(309)に対しては、更に通信方法による トを有する宛先毎にまとめてフォーマット変換を指示

に一時的に保持される。文書の入力が完了すると、文書 [0029] 文書送信制御節(302)は、文書入力部(305) に文書入力先 (スキャナ(210)またはハードディスク(20 5))を指定した上で、文書の入力を指示する。入力され た文書は文書入力部(305)により入力文書領域(203a)等

22

オーマット変換部 (308)に対して文書フォーマットの形 式を与え、変換を指示する。フォーマット変換部(308) は、入力された文書データを指定された文書フォーマッ 送信制御部(302)は、分類した宛先リストに従って、フ

【0030】文書の変換が完了すると、文魯送信制御部 (302)は、文書データをフォーマット変換部(308)から文 魯送信部(309)に転送する。文魯送信部(309)には、変換 された文書フォーマットを使用する宛先リストが与えら ら、文書送信部(309)に与えられる宛先リストの例を示 れる。図8に、図7のように分類された宛先リストか

[0031]図8の(a)は、フォーマット変換部(30 に指示する宛先リストである。 図8の (b) は、フォ ーマット変機部 (308)でJPEG対応のフォーマット変 換がされた文書を、1つの受信者にファイル伝送するよ 8)でJPEG対応のフォーマット変換がされた文書を、 e-mail 送信で2つの受信者に送るよう文書送信部(309) う文書送信部(309)に指示する宛先リストである。

を指定された送信方式で指定された宛先に送信する。宛 先リストに含まれる全ての宛先への文書送信が終了した のちに、文書送信制御部(302)は、文書入力部(305)およ [0032] 文書送信部(309)は入力された文書データ ぴフォーマット変換部(308)に一時的に保持されている 文書データの削除を指示する。

く本実施の形態の文書処理装置の処理手順例>

(第1の処理手順例) 図9は、スタートキー(206a) が押 2)に与えられてからの文書送信制御部の動作を表すフロ されて、宛先リスト・文書の種類が文書送信制御部(30 ーチャートである。 [0033] ステップS701で、入力された宛先を1つ説 み込む。ステップS702で、指定された文書の種類に相当 する文書フォーマットが指定されているかどうかを検査 する。文書フォーマットが指定されていない宛先に関し て、ステップS703で、デフォルト文番フォーマット情報 フォーマットを特定し、宛先リストに杳き加える。ステ ステップS701からS704までを宛先リスト内の全ての宛先 ベース(304)の情報と指定された文書の種類とから文書 ップS104ではステップS701に戻り次の宛先を読み込み、 について繰り返す。

[0034] 次に、ステップS705において、指定された 文書の種類にある文書フォーマットをキー(例えば、Fo ップS706において、同じ文魯フォーマットを使用する複 数の宛先を送信方法をキーとして宛先を分類する(図7 rmatl, Format2等) として宛先を分類する。さらにステ の倒では、JPEGの文物フォーマットが、emailとフ アイル転送プロトコル(ftp)に分類されている。。

入力終了を待つ。入力された文書は文書入力部 (入力文 5)に文書の入力を指示し、ステップS708において文書の [0035] ステップ5707においては、文告入力部(30

特開平11-134263

8

虧領域(203a)) に一時的に保持される。ステップS709に おいては、入力された文書を、分類された宛先リストの 最初の宛先が必要としている文書フォーマットを指定し オーマット変換部 (送信文書領域(203c)) において一時 的に保持される。ステップS710において、変換されたフ ットであるかどうか検査し、最後であるならばステップ S711において文書入力部に一時的に保持されている文書 次にTIFF-MMR等)。変換された文書データはフ オーマットがステップS706で分類された最後のフォーマ て、フォーマット変換部(308)に文書データのフォーマ ット変換を指示する(図1の例では、最初にJPEG、 データの削除を指示する。 2

[0036] 次に、ステップS712において、ステップS7 06で分類された宛先リストの中で、ステップ5709で指定 されている文書フォーマットを送信する最初の送信方法 照)。ステップS713では、ステップS712で作成された宛 先リストを送信方法とともにパラメータとし、フォーマ に指示する。ステップS714ではステップS712に戻り、ス テップS709で指定されている文書フォーマットを送信す る次の送信方法を使用する宛先のリストを作成し(図8 を、ステップS709で指定されている文書フォーマットを ット変換部に保持された文書の送信を文書送信部(309) の(b) 参照)、ステップS712からステップS714まで を使用する宛先のリストを作成する(図8の(a)参 送信する全ての送信方法について繰り返す。

【0037】 ステップS715ではステップS709に戻り、次 の文書フォーマットを指定して、ステップ5709かちステ ップS715までを、分類された宛先リスト内の全ての文格 フォーマットについて繰り返す。全ての宛先について送 信が終了した後に、ステップS716でフォーマット変換部 で一時保持されている文書データの削除を指示し、文書 の送信処理を終了する。

【0038】(第2の処理手順例)前記第1の処理手順 例では、宛先リストを分類した後に文書を入力し、順改 が、動作に必要なRAM(203)、ハードディスク(205)、Net 用できる限り、並行動作を行うことによって、更なる効 work Interface(208)、Fax Modem(209)などの資源を利 必要な文書フォーマットに変換して送信を行っていた が、フォーマット変換部(308)および文書送信部(309) 率的な文書送信が可能である。

[0039] 図10を参照して、第2の処理手順例を説 明する。図10は、スタートキー(206a)が押されて、宛 れてからの文替送信制御部の動作を表すフローチャート ステップS802で、指定された文書の種類に相当する文書 フォーマットが指定されているかどうかを検査する。ス テップS803で文書フォーマットが指定されていない宛先 4)の情報と指定された文書の種類とから文書フォーマッ に関して、デフォルト文書フォーマット情報ベース(30 先リスト・文書の種類が文魯送信制御部(302)に与えら である。ステップS801で、入力された宛先を読み込む。 22

分類する。さらにステップ3806において、同じ文書フォ 宛先を分類する。ステップ8807においては、文書入力部 [0040] 次に、ステップ5805において、指定された 文書の種類にある文書フォーマットをキーとして宛先を ーマットを使用する複数の宛先を送信方法をキーとして 笛の入力終了を待つ。入力された文書は文雪入力部に一 (305)に文書の入力を指示し、ステップ5808において文 時的に保持される。

【0041】この後、ステップS809において、フォーマ 2つのタスクを並行動作させる。ステップ5810において タスクAとタスクBの動作の終了を待ち、両タスクが終了 ット変換を管理するタスクAと変換された文書データの 送信を管理するタスクBの2つのタスクを生成し、この すると文書送信は終了する。なお、タスクAおよびタス クBには、ステップS806で分類された宛先リストがパラ メータとして与えられる。

変換完了を待ち、ステップS815で変換が完了した文魯デ 全ての文番フォーマットについて、フォーマット変換部 動作を行う事により、なるべく多くの文書フォーマット 変換を並行動作させる。ステップS814で、文魯送信制御 **部(302)はフォーマット変換部(308)からのフォーマット** トを必要としている宛先および送信方法をパラメータと て、ステップ5806で分類した宛先リストの中に含まれる (308)に文書データのフォーマット変換を指示する。フ ハードディスク (205)などの資源が利用出来る限り並行 ータについて、文書送信部(309)にその文書フォーマッ オーマット変換部(308)では、動作に必要なRAM(203)・ [0042] タスクAでは、まずステップS813におい して文書の送信を指示する。

【0043】文番送信部(309)でも、動作に必要なRAM(2 テップS817で文像入力部に保持されている文書データの Fax Modem(209)などの資源が利用出来る限り並行動作を 行う事により、なるべく多くの送信方法の文魯送信を並 行動作させる。ステップ2816で、与えられた宛先リスト きたかどうかを検査し、全ての変換通知が来ていたらス 03)・ハードディスク(205)・Network Interface(208)・ の中に含まれる全ての文魯フォーマットについてフォー マット変換部(308)からのフォーマット変換完了通知が 削除を指示し、タスクAの処理は終了する。

送信方法での送信完了したものがあれば、ステップ5822 50 **働送信の完了通知には文書フォーマットおよび送信方法** にある文書フォーマットのうち全ての送信方法での送信 が完了したものがあるかどうかを検査する。もし全ての が含まれており、ステップS821において宛先リストの中 [0044] 一方、タスクBでは、ステップSB20におい て文魯送信部(309)から文春送信の完了通知を待つ。文

を検査し、全ての文容フォーマットの削除を指示したの こおいてその文番フォーマットの文番データの削除をフ いて全ての文書フォーマットの削除を指示したかどうか オーマット変換部(308)に指示する。ステップS823にお ならば、タスクBの動作は終了する。

[0045] 尚、前記実施の形態は、図9または図10 図に基づく図9または図10のフローチャートに基づい てプログラムコード化されたものであり、例えば配億煤 ら、プログラムを一般的なコンピュータにロードして実 行することで実現することも可能である。本例では、文 **毎送信プログラムモジュール群は、図3の概略ブロック** 体FD(212)に配録されており、図12はその記録内容 のフローチャートをコード化して配億した配億媒体か の構成を扱している。

プログラム実行ファイル1203及び関連データ1204は、図 ピュータシステム(1300)にロードすることが出来る。こ に、本文魯送信プログラム実行ファイル(1203)及び関連 データ(1204)が記憶媒体FD(212)から読み出され、R [0046] 記憶媒体FD(212)に記録された文書送信 13に示すように、FDドライブ(204)を通じて本コン OS (1102)及び基本I/0プログラム(1101)の制御のもと の配飯媒体FDをFDドライブ(204)にセットすると、 AM(203)にロードされて動作可能となる。

媒体FD(212)から文書送信プログラム実行ファイル(12 [0047] 図11は本文査送信プログラムがRAM(2 ワークエリア (1105)が図のように配置される。上記例で 03)及び関連データ(1204)を一旦HD(205)に格納 (イン ストール)しておき、本文審送信プログラムを動作させ **る時に、HD(205)からRAM(203)にロードするように** にロードして実行させる例を示したが、このほかに配憶 して、基本1/0プログラム(1101)、OS(1102)、文書送 は、記憶媒体FD(212)から文像送信プログラム実行フ 03)にロードされ実行可能となった状態を示す。構成と ァイル(1203)及び関連データ(1204)を直接RAM(203) 信プログラムモジュール群(1103)、関連データ(1104)、 してもよい。

[0048]また、本文書送信プログラムを記録する媒 等であっても良い。さらに本文魯送信プログラムモジュ 体はFD(212)以外にCD-ROMや I Cメモリカード **一ル群をROM(202)に配録しておき、これをメモリマ** ップの一部となすように構成し、直接CPU(201)で実 行することも可能である。

[0049]

【発明の効果】本発明により、ネットワークによって接 を通して接続された複数の受信者に対して、1回の送信 指示によって文書を送信する文書送信方法及び該方法を ム、リモートデータベース、リモートプリンタなどの複 続された電子メールシステム、リモートファイルシステ 数の送信方式による複数の受信者や、ファクシミリ回線 実現する文書処理装置を提供できる。

9

[0050] すなわち、送信方法、送信宛先、文告の種 類ごとに適切な文書フォーマットと送信方法で、文書を ットを必要とする複数の宛先に対して効率良く文書を送

送倡することが可能である。また、複数の文書フォーマ

信することが可能である。

図面の簡単な説明】

特開平11-134263

* ト文書フォーマット情報ベースの内容構成例を示す図で

【図7】本実施の形態の文魯処理装置における分類され た宛先リストの内容構成例を示す図である。

【図8】本実施の形態の文書処理装置における文告送信 【図9】文書送信制御部の第1の処理手順例を示すフロ 部に送られる宛先リストの内容構成例を示す図である。

【図10】文書送信制御部の第2の処理手順例を示すフ ローチャートである。 ーチャートである。

2

[図2] 本実施の形態の文番処理装置の基本的なハイド

を示す図である。

ウエア構成例を示すプロック図である。

[図3] 本実施の形態の文魯処理装置の機能構成例を示 【図4】本実施の形態の文魯処理装置におけるアドレス [図5] 本実施の形態の文像処理装置における宛先リス

す戯略ブロック図である。

【図1】本実施の形態の文魯処理装置が接続される環境

【図11】本実施の形態におけるRAMのメモリマップ 倒を示す図である。 [図12] 本実施の形態における記憶媒体のプログラム

[図13] 本実施の形態におけるプログラムロードの様 構成例を示す図である。 子を示す図である。

[図4]

【図6】本実施の形態の文書処理装置におけるデフォル*

[図]

トの内容構成倒を示す図である。

假の内容構成例を示す図である。

TIPP - MMR TIPP - MM 젔 덫 603 TOP - MH TIPP - MMR 컱 盈 5 e - gad database pgr.klm.jsi/sbc/def 03 - 1234 - 4586 vex O cde fg Ji.im abe @ ode fg. Jiln 6 abc.fg.jl.tm qwe.rty.uk lmn.lk).jp 5 5 オータペース 7979 103 欠售处理技匠

[<u>8</u> 8]

93

802

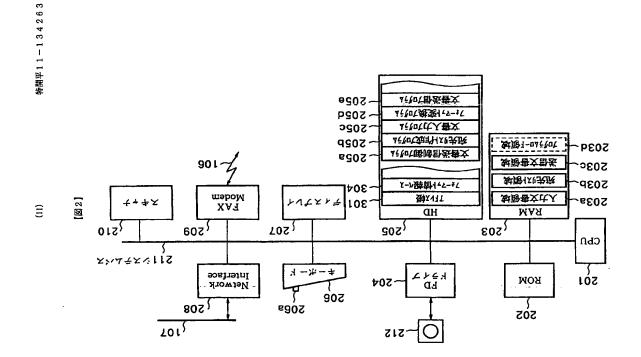
<u>6</u>

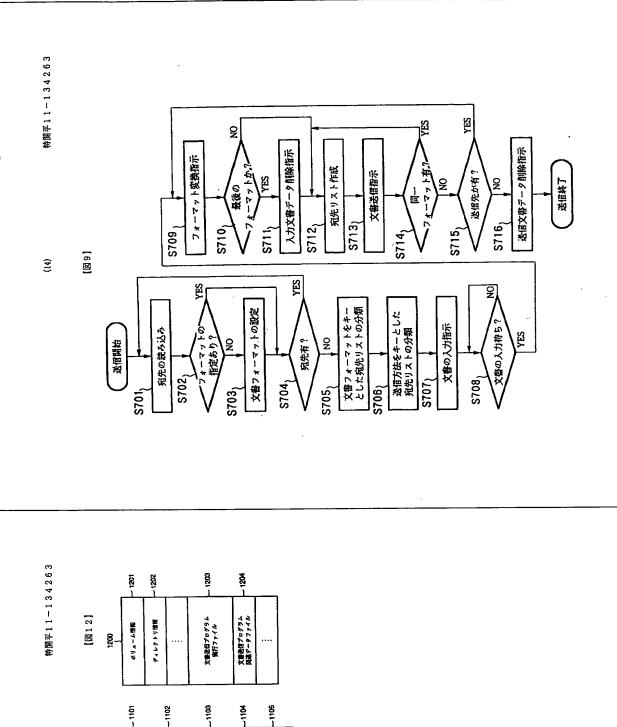
[**図** 5]

NONE PEG 3 TIFF MH TIPP - MMR NON BMP E E [区区] TIPP MMR BMD 28 NONE database · · mail 202 TIPP - MMR 55 J TIFF - MMR . 20 20 Formst2 TIFF - MMR JPBC BWB TIFF - MMR TIPP -- MMR , 203 **20**5 地大学校 ijem – a database 08 - 1234 - 4568 abc @ cde.fg.jl.lm vex @ cde.fg.jl.bm 50 abcfg.jl.lm

IPEC IPEC IPEC Z pqrklm.ja/abc/del abe @ ode/g Jl.b vcx. @ cde.fg. [l.] abc/g.jl.lm mn.lk j.p 角先アドレ

qwe.rty.ul





[図11]

[8図]

8018

(13)

基本1/0プログラム

Fight FLX
stc@cde.fg.ji.lm
vcx.@cde.fg.ji.lm

S

5∼

文書送信プログラムモジュール

802b 人 化 作 作

801b

(b) **紹先アドレス** pgr.ktm.js/ebc./def

囚禁ゲーク

7-9247

[图13]

춵

